

○共通科目（8 ヶ月程度）

科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	48 時間
フィジカルアセスメント	48 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学・特定行為実践	45 時間
合計	256 時間

○区分別科目

I. 領域レベル（7 ヶ月程度）

コース	科目名	特定行為名	研修時間数
①	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・ 気管カニューレの交換	【講義・演習】 : 61 時間 【OSCE】 : 3 時間 【実習】 : 各行為 5 症例
	ろう孔管理関連	・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	
	創傷管理関連	・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 脱水症状に対する輸液による補正	
②	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	【講義・演習】 : 70 時間 【OSCE】 : 3 時間 【実習】 : 各行為 5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸器からの離脱	
	動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 脱水症状に対する輸液による補正	
	術後疼痛管理関連	・ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
	循環動態に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	

II. 下記の区分別科目については1区分から受講することができます。

なお、領域ﾎﾞﾙ①ｺｰｽ(在宅・慢性期領域ﾎﾞﾙ)を受講される方は、一部研修が免除されます。

No	科目名	特定行為名	研修時間数
1	感染に係る薬剤投与関連	・感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	【講義・演習】 : 29 時間 【実習】 : 5 症例
2	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	・インスリンの投与量の調整	【講義・演習】 : 16 時間 【実習】 : 5 症例
3	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・抗けいれん剤の臨時の投与 ・抗精神病薬の臨時の投与 ・抗不安薬の臨時の投与	【講義・演習】 : 32 時間 【実習】 : 各行為 5 症例
4	創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去（領域ﾎﾞﾙ①ｺｰｽ受講者は免除） ・創傷に対する陰圧閉鎖療法	【講義】 : 34 時間 【OSCE】 : 1 時間 【実習】 : 各行為 5 症例
5	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正（領域ﾎﾞﾙ①ｺｰｽ受講者は免除）	【講義・演習】 : 16 時間 【実習】 : 各行為 5 症例